

ケアプランデータ連携システムの活用状況等に関するアンケート調査（結果）

質問 1	ケアプランデータ連携システムの導入状況について教えてください。（択一）	回答数	回答率
1	導入している	54	35.8%
3	現時点で、今年度に導入する予定はない	43	28.5%
4	導入するつもりはない	38	25.2%
2	導入することは決まっているが、まだ導入していない	16	10.6%
	合計	151	

質問 2	質問 1 で「1導入している」または「2導入することは決まっている」を選択した場合、導入した又は導入を決めた理由を教えてください（複数回答可）	回答数	回答率
1	法人（本部・上司等上層部）の方針で、ケアプランデータ連携システムを使用する予定であるため。	39	28.7%
5	提供票の共有にかかる時間削減が期待できるため	21	15.4%
6	従事者の事務的負担軽減が期待できるため	20	14.7%
4	事務経費の削減が期待できるため。	13	9.6%
2	提供票のやり取りをする事業所から要請があり、システムを利用予定であるため。	12	8.8%
3	提供票のやり取りをする事業所が既に利用しているため。	12	8.8%
8	その他	11	8.1%
7	高いセキュリティにより安心してデータ連携できるため	8	5.9%
	（その他自由記述） ・将来使用予定のため ・そのうち導入するようになるのなら、今のうちから慣れたほうが良いから。		
	合計	136	

質問 3	質問 1 で「1導入している」を選択した場合、活用状況について教えてください（択一）	回答数	回答率
2	活用がやや不十分であり、業務効率化につながっているとは言い難い	21	38.9%
4	その他	14	25.9%
1	十分に活用できており、業務効率化につながっている	13	24.1%
3	全く活用できておらず、業務効率化につながっていない	6	11.1%
	（その他自由記述） 未使用 活用しているが、導入事業所が少なく効率化には程遠い。 システムを導入済みの居宅や包括とは業務効率化につながっているが、導入していないところが多いのが現状 活用は出来ているが、他の事業所の使用が少ない ソフト会社を変更したら使えなくなった。 利用中のシステムとの連携に不具合が生じ、上手く活用できていない状況 一部の事業所との提供票、実績の活用にとどまっているが、それでも業務効率化にはつながっている。 活用しているが事業所数（現在6事業所）が少なく、業務効率化につながっていない		
	合計	54	

質問 4	質問 3 で「2活用がやや不十分であり、業務効率化につながっているとは言い難い」または「3全く活用できておらず、業務効率化につながっていない」を選択した場合、その理由を教えてください（複数回答可）	回答数	回答率
7	普及率が低くメリットが小さい	10	27.8%
8	その他	10	27.8%
6	事務負担や事務の種類が多くなる	7	19.4%
1	機能の操作方法が分からない	6	16.7%
5	経費削減の効果を感じない	2	5.6%
2	導入している介護ソフトがケアプランデータ連携システムに対応していない	1	2.8%
3	同様の機能を持つ介護ソフトを使用している	0	0.0%
4	セキュリティ面で懸念がある	0	0.0%
	（その他自由記述） 導入が義務化されてないために稼働率が少ないです。実績入力にかかる時間は変わらないです。 取引の少ない居宅支援事務所が多いので、指名は難しい 自法人以外の事業所 連携できる事業所が少ない 提供票をやり取りする事業所すべてが導入していない。		

	システムを使用していない事業所のほうが多いために事務負担の軽減にはなっていない。 行政からも利用を進めてもらいたい。 導入していない事業所も多いため、導入前と業務の手間が変わらない 普及率が低くメリットが小さい 外部事業所6件中、1件しか導入されていない。 使い方の理解が薄い事業所が多く、書類のミスがある。 老健ではショートステイでの連携だが、老健事業に比してショートステイ事業の比率が低いので特段のメリットが感じられない。 システムを導入している事業所が少なく従来の作業と併用しているため作業量が倍になっており十分に活用できているとは言い難い 利用する機会が少ない データ連携をされているところが少なく される予定のないところもあり 紙との同時進行の為 確認等業務負担は減らない 対象が少ない 現時点でシステム導入している連携事業所も少なく、従来の方法と連携システムの双方する必要あり、業務効率化には至っていない 取り込みを失敗した時に再度、相手に送ってもらわなければいけないため手間がかかる データ連携の事業所が約3割、他が7割の為、現状は業務量が増えただけの状態。 活用するメリットはあるが、利用しているサービス事業所が少ない。相手がいないと利用が進まない。		
	合計	36	

質問5	質問1で「3 現時点で、今年度導入する予定はない」または「4 導入するつもりはない」を選択した場合、その理由を教えてください	回答数	回答率
9	法人（本部・上司等）の方針が決まっていない、検討していない	27	20.3%
6	ライセンス費用が高い	20	15.0%
11	その他	17	12.8%
1	機能やメリットが分からない	14	10.5%
2	導入の方法が分からない	13	9.8%
7	経費削減につながるとは思えない	12	9.0%
8	事務負担や事務の種類が多くなる	10	7.5%
10	普及率が低くメリットが小さい	7	5.3%
3	導入している介護ソフトがケアプランデータ連携システムに対応していない	6	4.5%
5	セキュリティ面で懸念がある	4	3.0%
4	同様の機能を持つ介護ソフトを利用している	3	2.3%
	【方針を決める障害となっている点があれば教えてください】 本部より導入に関する指示や話がない。 法人の方針が決まってない。 法人で導入を検討している段階。 必要性はあるので、現在検討している 法人(代表) が導入を考えていない。 現在は介護ソフトの導入が先に検討されている。 ケアプラン連携システムの存在を今回初めて知ったので、これから検討していく 法人的には他の事業所全体が使用していないならメリットが少ないと判断している 一人ケアマネの為 ソフト導入費用 わからない 他包括さんの導入状況を踏まえながら法人と相談したい。 費用面も含めて本部の理解が不十分 利用事業者数と経費 特になし。 情報がない どのくらい普及しているかわからず、混在しているため、業務が手間になるイメージがある。 システムと今まで通りの対応と手間が増える。機械が苦手な職員もありサポートが大変になる可能性が大きい 費用面。法人内で導入の意見が出そろっていない。導入にかかる手続きの手が取れない。		
	【今後普及を希望する他事業所を教えてください】 導入しておられる事業所（導入予定含む）はどのくらいあるか知りたい 居宅介護支援事業所の普及が進めば利用したい		
	合計	133	

質問6 その他ケアプランデータ連携システムの導入について、ご意見等ございましたらご記入ください

【研修会・情報について】

- ・システムに関して勉強不足なため、研修等に参加する機会をいただきたい。
- ・担当者にとって不安が大きいため導入のタイミングを計っている。実際に導入事例を紹介いただく機会があれば事務担当者の心理的な負担感を軽減できる。
- ・電子カルテを導入していない現状だが、それでも利用可能かよくわからない。ウェブでの説明会などあれば参加したいと思う。
- ・システム自体について情報不足で導入への判断がつかない。
- ・説明会などでメリットがあれば導入したいので説明会の案内などしてほしい。

【システムについて】

- ・手順マニュアルをもとに行っているが、「受信」→「送信」の手順が多く感じる。今よりも簡素化できると良いと思う。「受信」が1回しかできないので取り込みできない場合、居宅事業所へ再度、送信依頼しないといけないので、再受信できるといい。ファイル内にある件数が把握しづらいので受信、送信時に確認できるといい。
- ・確認の手間があるので、更新等があったときに通知があるとよい。
- ・データでやり取りするため、中身が見えず、間違えて送っていないか不安はある。
- ・データでの連携の場合、他のサービスの予定が分からない為、休みの理由や確認が出来ない。
- ・こちらのシステムの問題かもしれませんが、提供表データを取込んだ方しか実績をデータ送信できないため、当月新規の方は結局紙かpdf等で送付しないといけないのでその確認に手間取る。提供票のデータが来ていなくても実績を送付出来るようにしてほしい。
- ・ケアプランデータ連携システム自体は業務効率に期待できると思うが、どのシステムでも対応できるものにして欲しい。
- ・きちんと使えば便利、介護ソフトの会社が早く対応してほしい。
- ・使用料が高い。

【導入の検討やタイミングについて】

- ・早々にシステムを導入したが、関係している事業所がほとんどシステムを使用していないため現状非効率となっている。まず、居宅や包括は強制的に導入をして使用を進めていかないと、サービス提供事業はシステム導入に無駄な資金を使うことになっている。システム導入後も操作に慣れるまで数カ月要するので早急に導入してもらい統一した対応ができるようにしてほしい。
- ・周囲に理解者が少ない。
- ・事務担当者の不安の解消を図り導入する予定。
- ・ケアマネ事業所で導入されているところが少ない為。
- ・今後、導入について検討していきたい。
- ・書類事が多い事業の中、ケアプランデータを導入することで事務負担が軽減できるなら導入をしたいと思うが、まだじっくり向き合う時間がない。
- ・地域包括支援センターの導入となれば導入する。介護ソフトも多くあるため、推奨があれば導入を考える。
- ・義務化になり、全ての事業所と連携できるのであれば活用したい。
- ・実際には導入している事業所がほぼなく、連携できないので導入の必要性を感じない。

・事業所数が増えていかないとデータ連携のメリットがない。
・サービスが対象外のため導入していない。
【普及と効果について】
・小さい事業所ではコストをかけてまで導入するメリットはほとんどないを考える。結果、導入しているほとんどが複数事業所を持つ大きい法人になっている。
・結局、情報伝達手段が増える事に繋がる：今現在、提供票は郵送・FAX・持ち込み・メールにて頂いている。仮に8割以上の事業所が当該連携システムを運用すればその効果は実感できると思うが、5割程度であればその効果は薄れ、事務作業は煩雑になる。
・難しそうなイメージがあったが、導入してみると大変便利で、効率的だと感じた。ただ、居宅支援事業所またはケアマネージャーによっては活用状況はまちまちなので（導入されていなかったり、提供票や計画書等メールで送って来られる）、不便を感じることもある。
・まだ導入手続き途中ではあるが、すぐに導入できるものではない。国保連に連絡したり、電子請求用のID発行等たくさんすることがある。セキュリティのためには必要だと思うが、もう少し簡潔に導入が出来ると助かる。導入後は、業務を円滑に行うために業務改善を行っていきたい。
・個人としてはケアプランデータの連携システムがある事は聞いたことがあるが、法人内で使用する話が全く出ていない。
・活用するにはサービス事業所での導入による。利用事業所が増えれば業務効率化はもっとよくなる。実績入力の負担軽減が出来ることや、ケアプランをPDFで送付出来るなどメリットはある。
・導入・活用することである程度業務の効率化につながったが、導入されていない事業所も多く、負担は変わらない部分もある。普及することで生きてくるシステムだと思うが、費用面などから導入予定はないとの事業所もあり、普及は難しい状況と感じる。